

～構成団体～
 連合長崎
 県平和運動センター
 同盟友愛連絡会
 県中連懇話会
 労働金庫
 全労済
 県生活協同組合連合会



—発行所—
 長崎県労働者福祉協議会
 〒850-0031
 長崎市桜町9-6
 長崎県勤労福祉会館内
 ☎095-811-6131
 rofuku-nagasaki@io.ocn.ne.jp
 発行日 隔月1日
 発行責任者 松尾清弘

県労福協 第36回定期総会を開催!! 2018年度の活動方針等を決定

県労福協 第36回定期



主催者挨拶する宮崎会長

▲県労福協は5月18日(金)、ホテル セントヒル長崎において第36回定期総会を開催し、役員・代議員を含め県下各地より115名が参加、森副会長の開会挨拶で始まり、議長団には加世田代議員(県平和運動センター)・南代議員(県生協連)を選出しました。

定期総会における 宮崎会長挨拶要旨

▲主催者を代表し宮崎会長は2点について挨拶を行いました。まず1点目に労福協運動の充実について、「昨年50周年の節目を迎えた、停滞した時期もあったが、歴代役職員・先輩の努力の積み重ねによりしっかりと運動を継承されており、最近では全労済・労金ともに大きく業績が改善し、連合長崎も組合員の減少傾向に歯止めをかけ今年度600名の純増となった。各組織・役職員の努力と会員組合員の理解と協力が労福協を通じて相乗効果で結果が出ている。また、組合員・会員は消費者でもあり生協連との連携を強めたい。」2点目に働き方改革と意識改革について、「国会での議論を注視しつつ、私たちにできることとして、働く人の命と健康を守ることを基本に、例えば勤務時間終了前・休日前にオーダーを

出すことで時間外が発生する、オーダーを受けた側のことも意識した対応、また、カスタマーハラスメント(顧客の嫌がらせ)について、サービスを提供する側と受ける側がお互い尊重し合い、お互い様・同じ仲間という意識が必要である。」と訴えました。

その後、昨年6月に亡くなられた、元長崎県労福協会長の高石哲夫氏のご貢献に感謝し、ご冥福を祈り、出席者全員による黙祷を行いました。

▲続いて、長崎県産業労働部雇用労働政策課の吉村邦裕課長、民進党県連の高木義明代表、社民党県連合の吉村庄二代表より来賓挨拶を受けました。

▲今年度もチャリティゴルフ募金102,922円並びに書ハガキを切手に交換し(18,540円)を「長崎県障害者社会参加推進センター」へ寄贈しました。



チャリティゴルフの募金を
長崎県障害者社会参加推進センターへ寄贈

▲議案審議では、2017年度活動報告、決算報告、2018年度活動方針案、予算案など全ての議案が承認されました。

2018年度の活動方針を決定し、運動の基調として、
 ①社会的連帯を深める運動と政策の実現、②暮らし

の総合支援(ライフサポート)の労福協構成団体と連携した取り組み、③労働団体、福祉事業団体、協同組合間の連携を強め、労働者自主福祉事業団体の機能発揮・基盤強化の取り組み、④奨学金の制度改善に向けて、政党や様々な団体等と連携し実現に向けた取り組み、⑤多重債務、悪質商法等、消費者運動と連携した取り組み、⑥幹事会・各種専門委員会・研修等について充実を図ること、あわせて地域・職域で助け合いの機能を発揮し「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現をめざし全体で確認しました。

▲最後に森田副会長の閉会挨拶で第36回定期総会を締めくくり、総会を終了しました。

2018年度 長崎県労福協役員

役職名	氏 名	選 出 団 体
会 長	宮崎 辰弥	連 合 長 崎
副 会 長	松田 圭治	県平和運動センター
〃	酒井 隆	同盟友愛連絡会
〃	桜井 健一	県中連懇話会
〃	森田 孝徳	労働金庫
〃	森 光一	全 労 済
〃	本田 稔	県生協連
事務局 長	松尾 清弘	労働金庫
事務局次長	古川 洋介	連 合 長 崎
幹 事	高藤 義弘	連 合 長 崎
〃	平野 忠司	県平和運動センター
〃	中島 昭次	同盟友愛連絡会
〃	西平 博之	県中連懇話会
〃	宮本 晃好	長 崎 地区労福協
〃	鴨川 博明	佐世保 〃
〃	入江 良美	諫 早 〃
〃	塩入 高志	大 東 〃
〃	高井良芳行	五 島 〃
〃	家本 泰輔	北 松 〃
〃	田尻 正行	島 原 〃
〃	赤木 修	壱 岐 〃
〃	大塔 克彦	対 馬 〃
〃	深浦 哲也	上五島 〃
〃	口石 昭弘	労働金庫
〃	姫野 修一	全 労 済
〃	岩永 尚之	県生協連
会計監事	湯浅健太郎	労働金庫
〃	椎野修一郎	全 労 済

小西祐馬氏(長崎大学教育学部 准教授) を迎えての記念講演

▲県労福協第36回定期総会終了後、小西祐馬氏(長崎大学教育学部 准教授)を講師としてお招きし、「子どもの貧困と現状と課題」と題して記念講演を開催しました。

長崎大学で教鞭をとる傍ら「子ども食堂」など関わられており、その経験と研究を基に講演を受けました。貧困は見えにくいものであり、新たな視点に立つことが必要であり、「①本人からは言ってくれない、②困難が複合的で表面的な問題の背後に困難があるけど見えにくい、③一人の視点だけでは見えにくい」ことから、見えない貧困を見えるようにするために「福祉のまなざし」を備えることが大前提との内容でした。

参加者の皆さんを含め、県労福協として「子どもの貧困」について更に考えるきっかけとなる有意義な時間となりました。



講演される 小西 祐馬 氏

長崎県労福協 第17次海外視察研修 無事終了!!

長崎県労福協第17次海外視察研修は、5月22日(火)～5月25日(金)まで、3泊4日の行程で宮崎会長を団長として22名が参加し《台湾(台北)》を視察・訪問しました。

22日朝5時30分、貸切バスにて長崎駅を出発し、8時20分より福岡空港にて結団式の後、台北空港へ。

二日目に視察予定の1か所目の養護施設を訪問、午前中の「台北市私立義光育幼院」では、林淑珍院長より歓迎挨拶を受け、プロジェクターでの育幼院の活動紹介・ダンスによる歓迎・記念撮影。宮崎会長より訪問挨拶と日本からのお土産(文具類等)を

渡した後、院長より訪問に対して《感謝状》をいただきました。その後、施設内を視察し、ジュース・台湾バナナをご馳走になりました。



▲記念写真（義光育幼院） ▲ジュース・台湾バナナ

二カ所目の「懷徳風箏緑地育幼院」へ午後訪問、陳玉秀院長より歓迎挨拶を受けた後、宮崎会長より訪問挨拶をおこないました。陳院長よりプロジェクターでの育幼院の紹介後、施設内を視察。その後、育幼院の子ども達によるダンスや、子ども達と視察団と一緒にダンス・体操を行いました。

日本から持参したお土産（文具類等）を視察団全員で子供たちへ配り、大変喜んでいただきました。

また、会長より院長へ寄付金を贈呈し、院長より訪問に対して《感謝状》をいただきました。



▲「ふるさと」を熱唱する、県労福協合唱団
アンコールは「ドラえもん」でした



▲記念写真（懷徳風箏緑地育幼院）

「千と千尋の神隠し」の舞台となった老街（九份）・「烏来地区」・「台北101」・「忠烈祠（衛兵交代式）」・「故宫博物院」などの視察を行いました。



▲「千と千尋の神隠し」の舞台になった所です

《はしかの伝染》の心配もありながら、全員無事に帰ってきました。今回の視察研修に際し、多大なご支援・ご協力をいただきました連合・各産別・労働組合・事業団体の皆様に厚くお礼申し上げます。

尚、第17次海外視察研修報告書につきましては、完成後、参加者・各構成団体へ配布致します。

南部労福協 第1回幹事会開催

▲4月23日(木)、2018年度南部労福協第1回幹事会が福岡(全労済モルティ天神)で開催されました。

I. 報告事項

中央労福協・南部労福協・各県労福協・連合九州ブロック協議会・福祉事業団体

II. 協議事項

1) 2018年間活動計画と年間スケジュールについて

- ①第6回労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座について
- ②2018年度南部労福協研究集会について
- ③南部労福協役員視察研修について
- ④九州ブロック労働者福祉懇話会について
- ⑤2018年度リーダー育成ステップアップ研修について
- ⑥2018年度定期総会について

2) 2018年度事務費の支出について

III. その他

・全労済九州統括本部

NEWゼットワーク関連の報告・提案

各地区労福協だより

諫早地区労福協セミナー開催

▲諫早地区労福協では、労働者と労働福祉事業団体と連帯を深めるため、2018年5月8日(火)18時30分から諫早市勤労者福祉会館2階大会議室において、55名参加者の下、セミナー(学習会)を開催しました。

事業団体提案

労金：『奨学金借換え融資制度(つなぐ)について』

▼九州労金 諫早支店・融資係 大坪正成氏

地区労働者福祉協議会学習



全労済：『労働組合としての新入組合員対策について!』

▼全労済 長崎支所・支所長 尾辻雄一氏

地区労働者福祉協議会学習



北松地区労福協セミナー開催

▲2018年5月30日(水)18時30分から《生涯学習センター》において、「若いからこそできるライフプランについて」と題して、北松地区労福協若年層セミナーを開催しました。

労金：『若い世代のお金にまつわる話

～お金と上手に付き合う方法～』

▼九州労金 北松支店 山辺等氏



全労済：『生活保障設計の考え方について』

▼全労済 佐世保支所 堀江直樹氏



事務局だより

※今年3月に「アジア・アフリカ支援米」の一部を第16次海外視察先(2016年8月)の《くっくま孤児院》に送り、4月4日に届いたとの連絡がありました。くっくま孤児院の喜ぶ子ども達です。



第103回
労福協

クイズ

1. 九州ろうきんでは2018年4月より、教育ローン奨学金借換え専用「〇〇〇」の取り扱いを開始しました。〇〇〇に入る3文字は何でしょうか?

2. 全労済の2018年度からの活動計画の名称は『〇〇〇-Zetwork』です。

〇〇〇に入る3文字は何でしょうか?

(ヒント 6ページ)

◎答えはハガキかFAXで住所・氏名・職場名を明記し県労福協へ送付ください。

◎締切日は7月23日(月)(当日消印有効)

◎当選者10人の方に「お楽しみプレゼント?」をお送りします。正解者多数の場合は抽選となります。

◎送り先 〒850-0031 長崎市桜町9-6

長崎県労福協クイズ係

FAX (095)811-6132

◎前月号当選者(敬称略)

吉川 善浩(大村) 浅井 智晴(大村)

松田久美子(大村) 石丸久美子(大村)

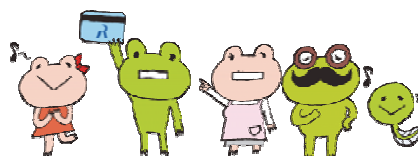
池田 陽子(大村) 松竹 千鶴(諫早)

村上 勝治(北松) 原 紀美子(諫早)

西崎 京子(西彼) 中里 潤子(長崎)

★★ 4月より取り扱いがスタート ★★

教育ローン 奨学金借換専用「つなぐ」のご紹介



ご承知のように、社会問題となっている奨学金問題対策（貧困問題）について、九州ろうきんと労福協が連携し、問題解決にあたる具体的な取り組みとして、「奨学金借換ローン」を創設しました。

商品概要は右記のとおりです。

当商品を利用することで、金利の軽減はもとより、返済方法の見直し、親権者（親）が連帯保証人になっている場合の連帯保証人からの解放など、本人や親権者（親）にとっても利用価値は高いものと思います。この取り組みが、ろうきん加入会員の組織強化に向けた福祉運動の一助となれば幸いです。

商品名	教育ローン 奨学金借換専用「つなぐ」	
対 象 者	当金庫に加入している会員の間接構成員および当金庫管轄内に居住または勤務している勤労者	
お使いみち	本人または同一生計の2親等以内の親族が奨学金借換のために必要な資金（※奨学金借換以外の資金使途は対象となりません）	
融資限度額	1,000万円以内	
融資期間	20年以内	
本人年収	安定した収入があり、前年度税込年収が150万円以上の方	
勤続年収	同一勤務先に原則1年以上勤務されている方	
金 利	団体会員の間接構成員の方	一般勤労者の方
	変動金利 1.0%（保証料込）	変動金利 1.8%（保証料込）
返済方法	元利均等毎月返済または元利均等毎月・ボーナス併用返済	
担 保	不要	
保証機関	（一社）日本労働者信用基金協会	
取扱期間	2018年4月1日～2021年3月31日（3年間）	

つかえるろうきん
みんなのろうきん



つかえるろうきん みんなのろうきん
九州ろうきん

2018夏季

こどもみらい応援

キャンペーン

2018.6.1金～7.31火

■寄付対象となる預金について

キャンペーン期間中に預け入れいただいた定期預金（退職者専用定期預金等を除きます）を寄付対象とさせていただきます。

※退職者専用定期預金等・・・退職者専用定期預金、ふれあい定期預金、ろうきん新福祉定期預金、投信・定期ツカエルバックの定期預金。
《団体預金・エース預金・財形貯蓄は寄付対象外とさせていただきます。》

■寄付金について

キャンペーン寄付対象となる定期預金の新規・入金額の0.02%相当額を（九州ろうきん）が拠出し、各県の「こどもたちを支援する団体」へ寄付します。

長崎支店
095-840-0039

ローンセンター長崎
095-840-0010

長崎県庁支店
095-821-3146

ローンセンター佐世保
0956-23-7511

佐世保支店
0956-23-7266

北松支店
0956-66-2105

島原支店
0957-62-2248

諫早支店
0957-22-2288

大村支店
0957-53-2300

五島支店
0959-74-3117

くわしくは、九州ろうきん
ホームページから

九州ろうきん

検索

<http://kyusyu.rokin.or.jp/>

全労済長崎推進本部 2017 年度活動報告・ 2018 年度活動計画の議論が開始されました！

2018年5月29日（火）開催の第11回長崎推進本部代表委員会において、「2017年度活動報告」ならびにNew-Zetwork「2018年度活動計画」について議論・確認がされました。

2018年6月8日開催の地区推進委員会代表者会議での具体的な提案に向けた議論・補強を行い、6月中の開催されます長崎県下の各地区推進会議において、2017年度活動報告・2018年度活動計画について議論を開始していきます。



<2018 年度活動計画における特徴点>



1. 基本的な考え方

- (1) New-Zetwork 期間中の事業実績は、2017 年度末実績を維持し、さらに引き上げを目指します。
- (2) 事業実績の引き上げに向けて、重点共済は対前年度比 1.1 倍の新契約拡大の取り組みを行います。
- (3) お役立ち」と「共創」の視点を取り入れた「新しい生活保障設計」運動を展開します。

2. 「新しい生活保障設計」運動について

- (1) 「すべての組合員とつながる」を合言葉とした「住まいる・マイカー・ライフ保障の見直しキャンペーン 60」を実施し、保障診断を通じて協力団体・組合員へのお役立ちを進めます。

①名称	住まいる・マイカー・ライフ保障の見直しキャンペーン 60（略称：キャンペーン 60）
②展開概要	<p>①住まいる共済、マイカー共済、生命・医療保障の診断に必要な項目を保障相談シート（A3 チラシ 1 枚）に盛り込み配布します。</p> <p>②回収強化のため懸賞等の特典を検討します。</p> <p>③協力団体では、期間中に組織人員 60%以上の保障診断の実施を目指します。</p> <p>④居住域では、店舗と生活保障アドバイザーを中心に保障診断シートの配布・回収を行い、さらに加入者による見込み顧客紹介につながる工夫を行います。</p>
③効果	<p>①協力団体・組合員とのつながり（接点機会）とお役立ちの強化。</p> <p>②3 種目の保障診断実施と保障見積の提案による契約拡大。</p>

- (2) 協力団体の組織基盤強化と「新しい生活保障設計」運動の具体化に向けて、九州統括本部内に「団体生命共済／一律加入最大活用プロジェクト」を設置し、一律加入制度の価値や考え方の整理を進めるとともに、一律加入制度の最大活用を目指した活動を開始します。

保障のことなら



全国労働者共済生活協同組合連合会

長崎支所
長崎市宝栄町3-15

佐世保支所
佐世保市城山町1-22

☎095-864-7144

☎0956-25-8012

受付時間 平日9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

